

岐阜県の プラスチック

新年初行事『経済講演会』と『新年互礼会』を開催

◇講師は産業経済振興センターの谷博久理事兼調査役

◇互礼会は製品技術研究所の島田忠所長ら来賓を招く

『成形用金型』と『ブロー成形』の技能検定試験を実施

『射出成形』の合格者は1級7人、2級19人

平成15年のプラスチック製造品出荷額は3,544億円

事務局だより

『新年互礼会』の席上であいさつする大松利幸理事長



「新年互礼会」と「経済講演会」を開催

「講演会」産学官連携で壁を打ち破れ 新空港と万博の相乗効果に期待「互礼会」

工業組合は1月21日午後、岐阜市内にあるウェルサンピア岐阜で「新年互礼会」と「経済講演会」を開催した。

新年互礼会に先立って開いた経済講演会は、(財)岐阜県産業経済振興センター理事兼調査役の谷博久氏を招いて「成熟社会の経営のあり方」について話を聞いた。この中で谷講師は「成熟した経済社会の中で中小企業が生き抜くには大学、高専や公設研究機関との産学官連携がカギだ」と強調した。(講演要旨は4～5ページに紹介)

続く「新年互礼会」は、岐阜県はじめ関係機関・団体や賛助会員関係者を来賓に招いて開いたもので、会場に集まった50人は和やかに交流と懇談を深めた。

厳しい経営環境 有意義な講演に

工業組合の新年行事は経済講演会で開幕、児玉栄一副理事長が「原料樹脂は高値に張りつき、厳しい経営環境にあります。その折に成熟社会の経営のあり方をテーマに経済講演会を開催できることは、非常に有意義なことだと思います」と開会あいさつを行ってスタートした。



元気な企業事例を紹介

「知恵と工夫で壁を破った23事例」

招いた講師・谷博久氏は、慶応卒後、国民金融公庫へ就職し岐阜、横浜などの支店長として活躍した人。退職後は父親の出身県(美山町)

谷博久氏を招き「成熟社会の経営のあり方」をテーマに開催した講演会

ということで岐阜市に永住し、産業経済振興センター理事に就任する傍ら、中小企業団体中央会アドバイザー、商工会連合会理事を兼ねるなど中小企業の経営指導者として活躍している。

谷講師は、まず成熟経済社会に至った流れと特徴を説明した後、岐阜、山形、神奈川各県の「元気な企業の経営事例23企業」を紹介した。このうち県内事例では①技術差別化戦略に取り



交流と懇親を深めた新年互礼会

組んで新製品を生み、価格形成力を確保した紙袋製造と水処理装置製造業②工賃加工主体から脱却するため企画・卸売会社を設立して新分野へ進出した③ビジネスチャンスはあらゆる所に存在するとし、社長自ら多くの人と接して情報収集に取り組み、アイデアを経営に利用した④航空測量をアナログからデジタルへ全面転換し

高精度化を図るなど付加価値を高めることに成功したーなど13事例を紹介した。

最後に、中小企業が成熟経済社会を生き抜くには「一企業の研究開発能力では限界があるので、大学、高専や公設の研究機関と連携するなど、知恵と工夫で壁を打ち破ることがカギだ」と強調した。

「前向きに進む年に…」

― 大松利幸理事長の新年ご挨拶 ―

工業組合の新年互礼会は、隣接のパーティー会場に移して開催、まず大松利幸理事長が組合員を代表して次のようにあいさつした。

「経済はやっと長期の低迷から脱出、デジタル関連、工作機械業界、鉄鋼をはじめとする素材産業が活況を呈してきたところ。しかし、かつての重厚長大産業の再来かというところではなさそうだ。鉄鋼の場合は自動車産業向けに、工作機械はデジタル化により機能を強化した機種が、素材産業はこれまでになかった新開発材料が脚光を浴びるなど、いずれも特化しているようだ。業界と直接関連する原料樹脂では、自動車部品用のポリプロピレンはじめ機能性を高めた樹脂が需要を伸ばしています」さらに、「地

方に目を向けると、中部国際空港開港、愛知万博開幕の二大プロジェクトがいよいよ動き始める。それに関連して道路、交通機関、ショッピングセンターなどの施設、さらに観光面にまで広がり、大がかりなインフラ整備やイベント開催による相乗効果は、図り知れないものがあります。多くの産業と関わりのあるプラスチック成形加工業界は、その相乗効果の恩恵を受けることができると思う。この新年こそ、前向きに元気に進んで行く年にしたい」。

続いて来賓、賛助会員を代表して県製品技術研究所の島田忠所長が「研究所の業務を理解してもらえないので不安に思っていたが、講演の中で谷講師から産学官連携について提唱していただき、心強く思った。地元産業界との連携を深め、研究所としての役割を果たしたいので、活用してほしい」と呼びかけた。

谷講師の『成熟社会の経営のあり方』

ニーズを見失わず元気のある経営

知恵と工夫で独自色を出して進もう

工業組合の新年初行事『経済講演会』は(財)岐阜県産業経済振興センターの谷博久理事兼調査役を招いて開いた。

講演テーマは『成熟社会の経営のあり方』で、成熟した経済社会の中で経営者としての考え方、企業の進むべき方向、生き抜くための対応策など、地元で活動する経営コンサルタントとして幅広く提案、参加者は感銘を受けた。最後に谷講師は「ニーズを見失わず、知恵と工夫で元気のある経営をめざしてほしい」と呼びかけた。次は講演の要旨である。

成熟社会は無いものがない時代

《知恵と工夫のある経営》成熟した経済社会に入って、中小企業の経営者に一番考えていただきたい事は、人々が「物の豊かさ」から「心の豊かさ」を求めはじめていることです。まず、この事を知って、企業経営に反映させていただきたいのです。

物が行き渡った現代の成熟社会、無いものがない時代です。そうなると人々は、ありきたりの品やサービスでは満足しません。

勤労者一世帯当たりの預貯金残高は1,300～1,400万円ほどあるといわれます。しかし財布の紐はなかなか固く、これを緩めさせるには企業経営者の相当な知恵と工夫が必要になってきます。

独自色とは、魅力、特色、特徴

この知恵と工夫の中身とは何か。一つはいかに自社の魅力、特色、あるいは強みといった「独自色」を出し切って経営するかということではないでしょうか。二つ目は、

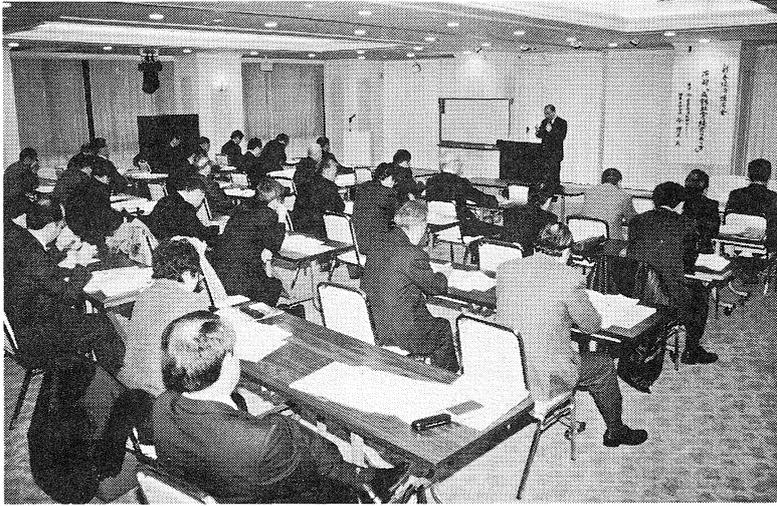


講演する谷博久講師

ユーザー（お客様）のニーズ（欲求）を「徹底的に追求し、求めるものを提供していくという経営姿勢」ではないでしょうか。

普通の経営では…元気は出ない

《元気のある経営》国民金融公庫に在職時代、北海道から関西に至る各地を転勤、職務を経験しました。各地の企業経営者と接し、まず気付いた事は「どんな業種、どんな業態にも10%は元気な企業があった」ことです。岐阜、山形、神奈川3県を振り返り、ざっと「元気



産学官が協力 壁を打ち破れ

《ユーザーの求めに協力する経営》経営の面で「ユーザーの求めに協力できる姿勢やサービスができるかどうか」ということは、あらゆる業種・業態に当てはま

「成熟社会の経営のあり方」をテーマに開催した経済講演会

な企業の経営事例」（資料は組合事務局に）をあげてみましたが、23事例のうち13事例は岐阜県にありました。岐阜には知恵と工夫で運営する元気な企業が多いのです。

何が元気にさせている原因かという、やはり「独自色を出し、ニーズに答えている経営か否か」ということでした。

これは地域を超え、業種、業態を超えて共通しており、漠然と普通に経営している企業は、例外なく元気がありませんでした。

心の豊かさに協力できる姿勢を

物が豊かになった成熟社会では、例えば飲食を取り上げても「何でも食べればよい」というのではなく「心豊かに、おいしいものを楽しく食べたい」という欲求に移り変わってきたのです。このことは食に限らず、あらゆる生活の中で、どなたも感じておられることでしょう。

したがって「ニーズが心の豊かさを求めている今日の経営のあり方」とは「自社の独自色の中で、ユーザーが求めることを提供していく」ことです。さらに「ユーザーが求める心の豊かさに、協力できる姿勢やサービスになっているか、否か」ということも大切になってきます。

ります。自社の「こだわり」を提供することはよいが、押し売りは程々が肝要といえよう。ユーザーのニーズは常に変化しており、注意しないと見失ってしまう。よく「商売が難しくなった」と嘆くが、多くの人はニーズを見失っているようだ。

ニーズを見い出せば、次は技術やデザイン力などの壁を乗り越えていくことですが、それには一企業の研究開発能力では限界があります。そこで着目したいのは「大学、高専、公設研究機関の研究能力と成果で、中小企業が成熟した経済社会を生き抜くにはこうした大学、研究機関と連携、協力を得るなど、知恵と工夫で壁を打ち破っていく」ことです。

経営コンサルタントとして応援

ある広告代理店の価値観調査で「心の豊かさや、ゆとりのある生活がしたい」と考えている人は90%もいると報告しています。「心の豊かさ」を重視する傾向はこれほど強まっているのです。

経営が大変厳しいだけに「ニーズを見失うことなく元気のある経営を続けてほしい」ものです。経営コンサルタントとして、今後も積極的に応援させていただきます。

『成形用金型』『ブロー成形』の技能検定

— 東海職業能力開発大学校とコダマ樹脂(株)で実施 —

工業組合は県職業能力開発協会から『プラスチック成形用金型製作作業』と『ブロー成形作業』の技能検定実技試験を受託、実施した。いずれも平成16年度後期の技能検定で、金型製作作業は揖斐郡大野町にある東海職業能力開発大学校で、ブロー成形作業は安八郡神戸町のコダマ樹脂工業(株)本社工場で行った。この後、2月6日に金型、同13日にブローの学科試験があり、3月15日に合格発表が行われる。

1級2人、2級は5人

— 金型受検者、フライスに取組む —

「プラスチック成形用金型製作作業」は1月の23日、30日の2日間、職業能力開発大学校の加工技術センターで実施した。受検者は1級2人、2級5人で、2組に分けて行なった。

1級の検定内容は「成形用金型に必要なテーパー加工、R加工、溝加工の作業要素を盛り込んだ課題を、縦フライス盤の手動操作と手加工で、4時間30分以内に製作」した。

また、2級検定は「成形用金型に必要なR加工、溝加工の作業要素を盛り込んだ課題を、縦フライス盤の手動操作と手加工で、4時間以内に製作」した。

作業開始と共に受検者は素材（鋼材S50C）をフライス盤で、磨き面のみ平面加工した後、仕上げ砥石で手加工による磨きを行い、最後に研磨紙で仕上げ、防錆処理を行なった。

実技の採点では①工作物の位置替え時、刃物の回転を止めない②工作物を落とした③測定器や工具を放置したまま機械を運転した一などの場合は減点対象になるので、検定委員の目が光り、受検者は緊張そのものだった。

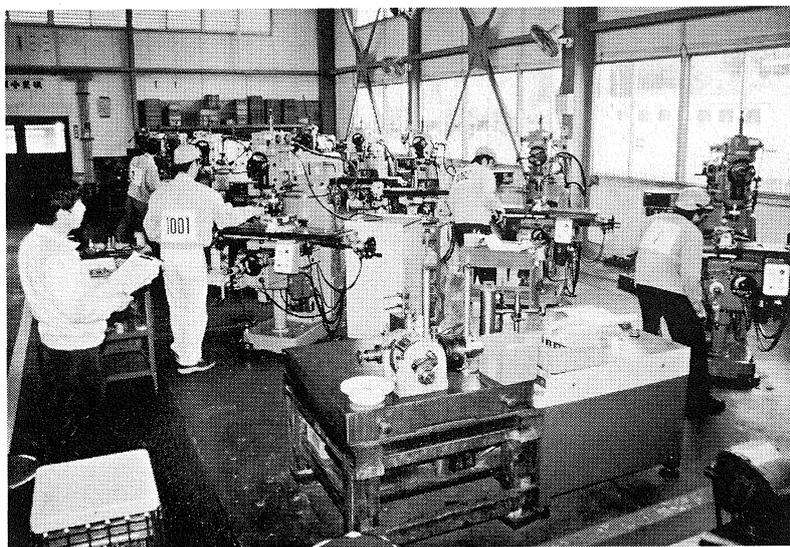
成形して各個を計量

— ブローは1級1人2級11人受検 —

「ブロー成形作業」は2月1日から土日を除く6日間、神戸町にあるコダマ樹脂工業(株)本社のブロー工場で行った。

受検者は1級1人、2級11人の合計12人。検定内容は、1級が3時間30分以内に「ポリエチレンとポリプロピレンの熱可塑性樹脂を用い、ブロー成形機により円筒ボトル（50個ずつ）を製作、成形品の内容量と成形収縮率計算票及び材料歩留まり率計算票を製作」した。

また、2級は2時間30分以内に「高密度、低密度2種類のポリエチレン樹脂を用い、ブロー成形



職業能力開発大学校で行った成形用金型製作の実技検定

機により円筒ボトル(20個ずつ)を2時間30分以内に製作した」のが内容。

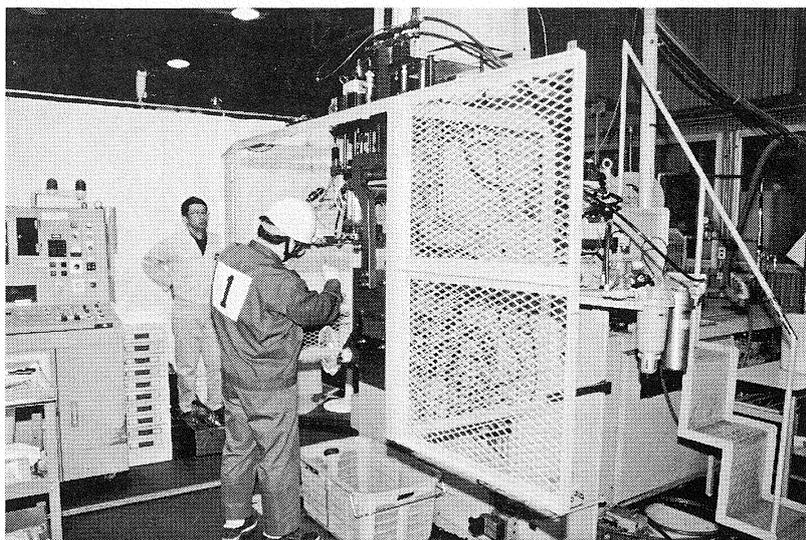
使用したブロー成形機は口径50ミリの小型機で1、2級とも午前と午後に分かれてポリエチレン、ポリプロピレン樹脂のボトル(高さ213ミリ、直径58ミリ)を製作した。

円筒ボトルは「重量が30グラム、しかも±0.5グラム以内の精度で成形しなければならない」と

あって受検者は1個ずつ計量器にかけて測定するなど、真剣な表情で作業していた。

近く射出成形の検定受検者を募集

工業組合は近く平成17年度前期技能検定として『プラスチック射出成形』の受検希望者を募



コダマ樹脂(株)本社工場で行なったブロー成形の実技検定

集する。

詳細が決まりしだい組合事務局で受付開始するが、受検資格が改定されたこともあって前年同様に多数の応募が予想される。試験は実技と学科があり、実技は県製品技術研究所で6月から7月にかけて実施予定している。

射出成形の合格者は1級7人、2級19人

——平成16年度前期技能検定結果、合格率は1級22.6%、2級26.8%——

平成16年度前期技能検定『プラスチック射出成形』の合格者が決まった。

合格者は1級7人、2級19人で、その合格率は1級が22.6%、2級が26.8%と共に低調だった。低調に終わった理由は、受検資格要件の緩和と各企業が技術力を重視し、1、2級ともに受検者が多かった結果とみられる。

合格者のうち組合員企業は1級が4人、2級は13人で、次は合格者のみなさん。

《16年度前期技能検定合格者》

◆1級プラスチック成形(4人)

野田 新吾(岐阜プラスチック工業(株))

田内 昌昭(ムトー精工(株))

斎藤 勝幸(ムネカタ(株)岐阜ファクトリー)

須田 克明(ムネカタ(株)岐阜ファクトリー)

◆2級プラスチック成形(13人)

松村 保(ムトー精工(株))

早川 誠(岐阜プラスチック工業(株))

重田 博幸(岐阜プラスチック工業(株))

安藤 正明(岐阜プラスチック工業(株))

高野 直也(株)武藤化成工業所)

堀 対河(ムトー精工(株))

ユン・タン・ソン(ムトー精工(株))

松原 史周(岐阜プラスチック工業(株))

大澤 健(岐阜プラスチック工業(株))

渡辺 信幸(岐阜プラスチック工業(株))

酒井 崇介(ムトー精工(株))

山田 和男(株)武藤化成工業所)

不破 三勝(岐阜プラスチック工業(株))

売上増加企業が減少企業を上回る
受注単価は4分の1がさらに下落

—— 昨年末の「経営状況調査」結果 ——

工業組合が昨年12月に「廃プラ状況調査」と「経営状況調査」を実施したが、このうち経営状況調査（回答37社）がまとまった。

それによると、組合員の売上高は増加35.0% 不変32.5%、減少32.5%で、不変とする企業は多いものの売上増企業が減少企業を上回った。

原材料費では92.0%の企業が上昇したと答えており、残る10%は材料支給を受けているか、比較的上昇していない再生樹脂の使用と見られる。

受注単価は上昇16.2%、下落27.0%、不変が56.8%。不変が過半数を超えたものの約4分の

1の企業はさらに単価の下落を訴えている。

企業収益は減少が過半数を大きく超えて62.2%、増加16.2%、不変21.6%で厳しさが残る。

現在の受注量は良好21.6%、まあまあ32.4% 少し不足37.8%、かなり不足8.2%、まったく不足とする企業はなかった。平成15年後半からプラスチック成形加工は、徐々に好転してきたといわれるが「良好」と「まあまあ」の受注があるとする企業は50%を超えている。原料加工処理では加工用の材料不足企業が多かったが、これは樹脂原料の高騰や廃プラ問題などコスト意識の高まりが影響したとみられる。

なお、廃プラ状況は取りまとめ中で、資料として組合運営に役立てていくことにしている。

岐阜県プラスチック業界の規模

(平成15年工業統計調査から)

◎事業所数 = 780 事業所

(会社法人 435、個人企業 345)

◎従業者数 = 14,538 人

(全県従業者数のウエートは 6.7%)

(正社員・正職員 9,299 人)

(パート・アルバイト 3,279 人)

(出向・派遣受け入れ 1,408 人)

(個人事業主と家族 522 人)

(臨時雇用 134 人)

◎製造品出荷額 = 3,544 億 3,300 万円

(出荷額の全県ウエートは 7.2%)

(県内産業別の順位では第6位)

(1人当たり出荷額は 2,438 万円)

(同全県平均出荷額は 2,249 万円)

◎付加価値額 = 1,410 億 1,900 万円

(付加価値額全県ウエートは 7.2%)

(1人当たり付加価値額 970 万円)

(県産業平均付加価値額 902 万円)

各指標ともに
ピークを記録

—— 平成15年のプラスチック ——

岐阜県がまとめた『平成15年・工業統計調査』によると、プラスチック製品の製造事業所は780事業所、従業者数は1万4,538人、年間製造品出荷額は3,544億3,300万円、付加価値額は1,410億1,900万円を記録した。

前年からの低迷景況の中で平成15年も、県内産業のほとんどが各4指標を後退させたが、プラスチック製造は事業所数は減少したものの着実な伸びをみせ、これまでのピークを記録した。

したがって県内事業所に占めるウエートは事業所数で4.6%でありながら、従業者数で6.7%、製造品出荷額と付加価値額では7.2%と高めている。

新連携対策に46億円

— 新年度の中小企業対策予算を見る —

新年度中小企業対策の骨格となる経済産業省・中小企業庁の関連予算額は1,300億円（前年度当初予算に比べ0.4%、5億円減）となった。対策の中心は、新たに

- 「新連携対策事業」として41億円
- 「新連携支援地域戦略会議事業」5億円
- 「中小企業経営革新等支援事業」約16億円
- 「シニアアドバイザー」12億円
- 「販路開拓コーディネート事業」1億円

などの他に、中小企業の再生支援中小企業金融の円滑化で増額を図っていることが特徴。

新年度の中小企業対策関連予算は「前年度に続き中小企業金融・再生支援に万全を期すとともに、中小企業の新事業への挑戦を協力に支援していくことで経済活性化・雇用拡大を確かなものとし、地域再生を図る」ことがねらい。

具体的にみると「市場に挑戦する中小企業への支援」では、市場ニーズに対応し、新たな付加価値を創出する中小企業を後押しする「中小

企業新事業活動促進法」（仮称）を制定するとともに経営相談、技術開発から販路開拓・市場化まで一貫した支援体制を構築する。

「中小企業新事業活動促進法」の制定では、経営革新法、中小企創造法、新事業創出促進法の3法を整理統合し「中小企業新事業活動促進法」とする。とくに新連携に対する支援では、創業・経営革新に関する支援策とは別に、新たな施策体系を新法に盛り込む方針。

「新連携」への支援策は、技術やマーケティングの専門家、政府系・民間金融機関等からなる「新連携支援地域戦略会議」（仮称）をブロックごとに設置し、新連携計画の申請前から関係する専門家が新連携プロジェクトを磨き上げ、さらにプロジェクト・新連携計画に関わり合うことで、地域の総力をあげた支援体制を整えていく。また、新連携の計画認定後も専門家（プロジェクトマネージャー）が事業化までフォローアップしていく体制も組む。

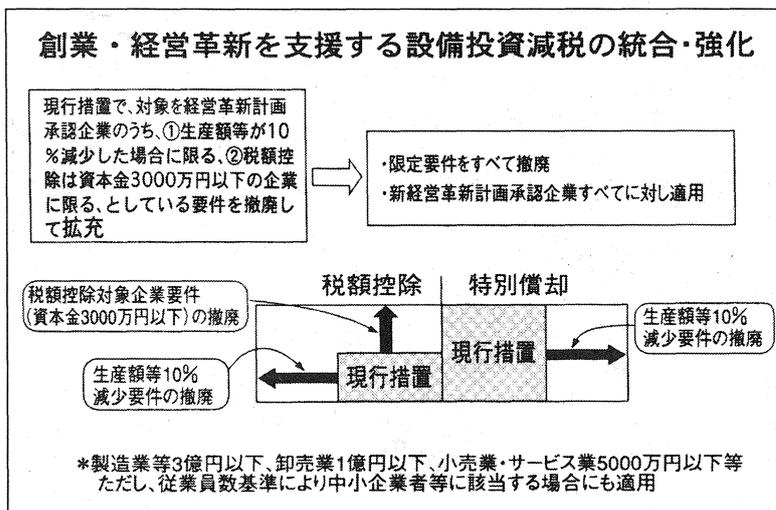
「創業・経営革新支援」は、経営革新を図る事業者に対して技術開発から販路開拓まで一貫した支援を行なっていく。

設備投資減税の統合・強化を図る

新年度の中小企業関係税制改正政府案によると、中小企業新事業活動促進法（仮称）の下での創業・経営革新・異分野連携支援策の統合、強化策として「創業・経営革新を支援する設備投資減税の統合・強化」が行なわれる。

創業支援では、設立5年以内の中小企業者の製造業・ソフトウェア業等4業種の創造的活動を行なう場合に設備投資減税を継続する

また経営革新支援では（下図）のように限定要件すべて撤廃し設備投資減税を適用する。



事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□地方の景気はまだまだ厳しいが…□

新年初行事「新年互礼会」と「経済講演会」へのご出席ありがとうございました。とくに講演会後の互礼会では来賓、賛助会員を招いての賑やかなパーティーとなり、和やかに懇親を深めることができました。

話題はやはり景気の問題で「大企業を中心に景気は回復している」というものの「地方の経営環境は、まだまだ厳しさが残っている」という見方が組合員の多数意見でした。

□新年度総会は5月23日開催します□

工業組合はさきに関いた理事会で、今後の組合運営について協議し、理事会と総会の開催日程を決めました。詳細は後日、文書でお知らせします。

新年度総会は5月23日（月）に、ウェルサンピア岐阜で開催します。当日は午後2時から理事会、同3時から総会、さらに同4時30分から講演会を予定しております。

総会に提出する予算、決算、事業計画などの議案は、3月24日（木）に開催予定（産業会館5階第2会議室）の第6回理事会でまとめることにしています。

□組合青年部も新年会を開いて懇親□

組合青年部は1月29日、グランヴェール岐山で新年会を開き、林敬一郎部長らが参加、懇親を深めました。

今回は講話がありませんでしたが、新年度は役員改選期に当たるため、新体制はじめ新事業について意見交換しました。

□来年から順次、65歳定年が義務化□

「高齢者の雇用の安定等に関する法律の一部改正」が施行され、求職活動支援書の作成・交付などが義務付けられました。

さらに平成18年4月1日からは「順次、65歳までの定年の引き上げ、継続雇用制度の導入等の義務化」が施行されます。

事業主は①定年の引き上げ②継続雇用制度の導入③定年の定め廃止の措置を講じなければなりません。詳細は職業安定所まで。

岐阜県のプラスチック 2005年 第179号

平成17年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 宮田 高

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE®

合成ゴムSBR

住友SBR®

合成ゴムEPR

エスブレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミクラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

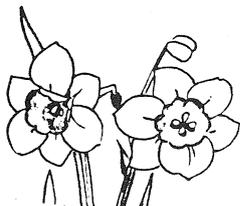
〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

前向きに 元気のある経営で

プラスチック業界の飛躍めざそう

2005年春



岐阜県プラスチック
工業組合 役員一同

リスのプラスチック

岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松 利幸

本社 岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
〒500-8833 ☎(058) 265-2233(代)

生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地
〒504-0922 ☎(0583) 86-9311(代)



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 俊一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守377の1
電話(0584) 27-4141

支店 東京、大阪

営業所 本社、横井、福岡、仙台

工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム

TPK 株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中 〒501-6004
TEL (058) 246-1313 番(代)
FAX (058) 247-2411 番

名古屋営業所 名古屋市西区城西5丁目5番4号 〒452-0841
TEL (052) 521-9296 番(代)
FAX (052) 532-1664 番

浜松事務所 浜松市入野町6056 〒432-8061
TEL (053) 447-2511 番(代)
FAX (053) 447-4248 番



業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作
大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役社長 日比 勝次

本社 岐阜県大垣市大島町2丁目394番地
TEL (0584) 81-1347(代)

営業所 名古屋市西区城西3-15-33
TEL (052) 932-3945(代)

アテカ工業株式会社

代表取締役社長 下野 利昭

■本社・工場 岐阜県関市下有知5601番地の1
TEL (0575) 24-2424 (代表)
〒501-3217 FAX (0575) 24-0567



株式会社 川瀬樹脂工業
エンジニアリング
プラスチック成型加工

代表取締役 川瀬 保雄

E-mail: sunthree@he.mirai.ne.jp
URL: http://www.mirai.ne.jp/~sunthree/

〒503-0011 岐阜県大垣市曾根町1丁目686番地
TEL: 0584-27-2256 FAX: 0584-27-5956

岐阜産研工業(株)

代表取締役 林 貢一郎

樹脂事業部 射出成形 押出成形
ギフト事業部 ギフト商品卸販売
キャスター事業部 キャスター製造販売

本社・工場 〒501-0555 岐阜県揖斐郡大野町
大字公郷1403番地
TEL (0585) 35-2511
FAX (0585) 35-2327

岐阜技研ポリマー
株式会社

取締役会長 篠田 哲

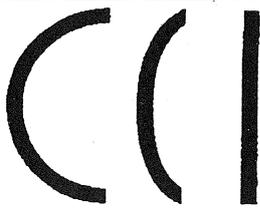
岐阜市岩地3-7-15
TEL <058> 246-2541
FAX <058> 246-2081

射出成形、並びに金型設計製作

株式会社
齋藤プラスチック工業所

代表取締役社長 齋藤 榮市

〒501-3911
岐阜県関市肥田瀬648-6
TEL (0575) 22-5678(代)
FAX (0575) 24-5438



技術と工夫で
価値あるものを...

シーシーアイ株式会社

代表取締役社長 岡部 修二

岐阜県関市新迫間1-2
TEL(0575)24-4111 FAX(0575)24-4199

ポリエステル、ナイロンをリサイクルする
タナジン®(ナイロン樹脂)
サイクリーン® アラフノン® ポビン資材回収



高安株式会社

代表取締役社長 高安 義英

<http://www.takayasu-rf.co.jp>

本社 〒504-0828 各務原市蘇原村雨町3-47 ☎0583-82-2231
坂祝工場 〒505-0071 加茂郡坂祝町黒岩1516 ☎0574-26-4171

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器



天龍工業株式会社

代表取締役社長 福西 紀雄

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1番地
TEL <0583> 82-4111(代)



株式会社 ニッセキ

代表取締役 石原 良美

本社・工場
〒503-0641 海津郡海津町内記194
TEL(0584)53-0238
FAX(0584)53-0359

hachiman-kasei co.,ltd.



plastic products

八幡化成株式会社

way-be®

代表取締役 高垣 美代子

〒501-4204 岐阜県郡上市八幡町旭182番地
TEL(0575)67-1175(代) FAX(0575)65-5150

各種プラスチックシート真空成型加工



パール化成株式会社
PEARL CHEMICAL PRODUCTS CO.,LTD.

代表取締役 杉山 元彦

本社工場 〒501-0473 岐阜県本巣市温井243-3
TEL (0583)24-9155(代) FAX (0583)24-6221
管理本部 〒500-8256 岐阜市八坂町40番地の1
岐阜工場 TEL (058)271-0861(代) FAX (058)275-0970



株式会社 **武藤化成工業所**

代表取締役 **武藤 幸平**

岐阜県武儀郡武芸川町跡部井口781 〒501-2605
TEL <0575> 46-3711 FAX <0575> 46-2285



ムト-精工株式会社

代表取締役 **田中 肇**

本社工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-60-1
TEL (0583) 71-1100(代) FAX (0583) 82-4365
本社工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-93
TEL (0583) 83-8311(代) FAX (0583) 83-1516



プラスチック原料販売
再生材料・着色・委託加工

有限会社 **久世樹脂工材**

代表取締役 **久世 幸博**

〒503-0008 大垣市楽田町3丁目29番地
TEL (0584) 81-6138 (代)
81-5785 夜間
FAX (0584) 81-2260

信頼できる高品質づくりをモットーに



(株) **東海化成工業所**

代表取締役 **宇野 隆**

本社 山県市大桑4370
TEL (0581) 27-2111
FAX (0581) 27-2915

WWW.tokaikasei.co.jp/Index.htm

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

バテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

ニューゴン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクター-TPO

ニューストレン®

高い熔融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

ニューフォーマー®

高い熔融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

ファンクスター®

射出及び熔融圧縮成形向け高性能ガラス長繊維強化ポリプロピレン

 **日本ポリプロ株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-33-8 第1田町ビル TEL 03-6414-4500

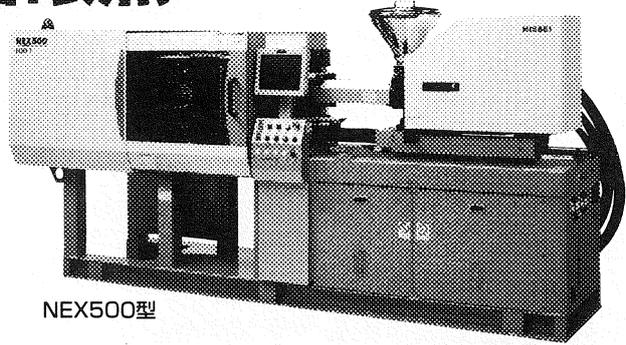
ISO9001 : 2000・ISO14001 認証取得

NISSEI

成形現場が NEX開発の着眼点

User Friendly Concept

電気式射出成形機
新エルジェクトNEXシリーズ



NEX500型

いま、生産現場が、取組んでいる課題…

- 歩留まりの向上
「成形加工の安定・追求」(時々発生する成形不良を無くしたい)
- 生産性を高める
「ハイサイクル・高精度・高剛性・高耐久」
- 金型を守る
「成形品挟み込みによる破損を無くしたい」
- 成形領域の拡大
「射出高性能化・多彩な成形制御プログラム」
- 作業環境の改善
「操作性の改善・作業環境の改善」
- 間接作業時間の短縮化
「段取り替え/メンテナンス作業の簡素化」
- 将来を見据えた取組み
「成形ノウハウの蓄積・構築、ネットワーク化」

射出成形機・金型・金型製作ソフト・成形支援システム

NISSEI®

日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所・名古屋テクニカルセンター / 〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 ☎(0568) 75-9555(代)
 ■福岡出張所 / 〒444-0858愛知県岡崎市上六名4-1-8三創ビル1F ☎(0564) 52-1430
 ■三重出張所 / 〒514-0824三重県津市神戸横田203-4 ☎(059) 224-0716

■本社・工場・技術研究所 / 〒389-0693長野県埴科郡坂城町南条2110 ☎(0268) 81-1050(営業部)
 ●http://www.nisseijushi.co.jp

TECHNICAL NEX

サイクルを短縮したい

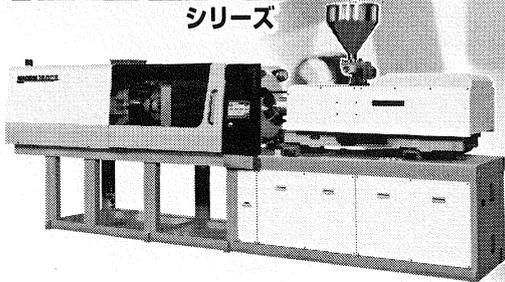
メンテナンス性や操作性も重視したい

あなたの「したい」にお応えするために、
あらゆる経験と実績を集結。

製品のバラツキをなくしたい

とにかくランニングコストを下げたい

直圧式電動射出成形機
NADEMI
シリーズ



NADEM 2000II-DM (型締力1,960kN)

ユーザーが100人いれば、
100通りのご要望があります。

 株式会社 名機製作所
<http://www.meiki-ss.co.jp>

本社・工場 〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2 ☎(0562) 48-2111(代)
 中部支店 〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2 ☎(0562) 47-2391(代)
 岐阜出張所 〒501-6001 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎(058) 247-2674(代)

化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

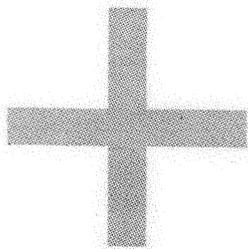
三菱化学

三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone: 03-3283-6274(ダイヤルイン)

ShinEtsu

信越シリコーン

【プラスアルファ】



またひとつ、新機能。

ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつものヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン

オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に
*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターバレットもあります。

■ シリコーン離型剤

オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。
離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤

合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン

セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-27-23 名古屋三井ビル東館
名古屋支店 シリコーン部 (052) 581-6515

くらしのこだわり...

HOME &
HOME

-RISU BASIC-

クワック
croissant®

より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア
3つの Point

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
2

洗い易いカタチ

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無糖系抗菌剤だから安心

リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社